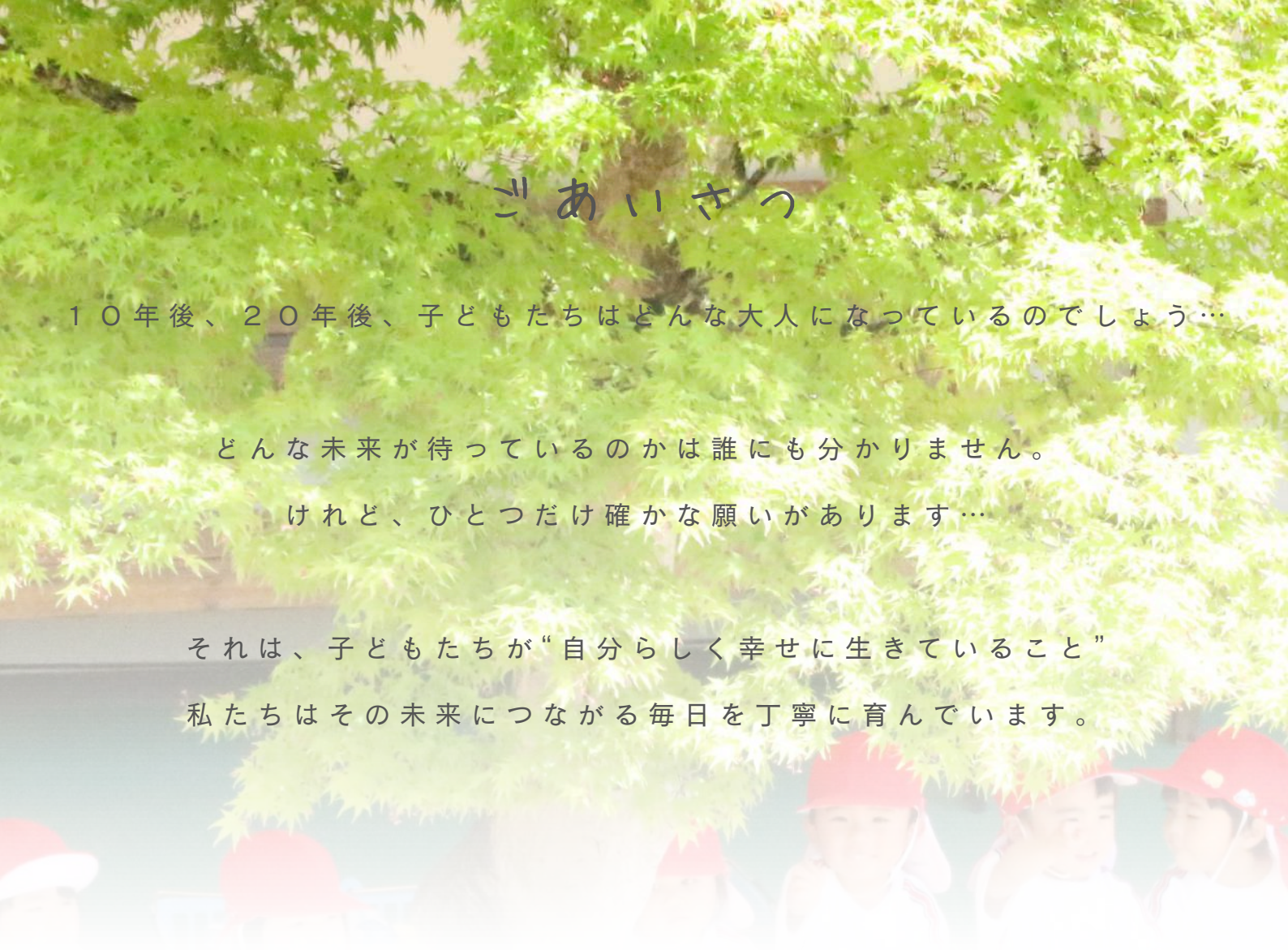

ごあいさつ

１０年後、２０年後、子どもたちはどんな大人になっているのでしょう…

どんな未来が待っているのかは誰にも分かりません。

けれど、ひとつだけ確かな願いがあります…

それは、子どもたちが“自分らしく幸せに生きていること”

私たちはその未来につながる毎日を丁寧に育んでいます。

子どもたちの姿を見つめていると、ふと考えることがあります。「１０年後、２０年後、子どもたちはどんな大人になっているのだろう」 未来の姿は誰にも分かりません。けれど、どんな道を歩んでいても、子どもたちが“自分らしく幸せに生きていること”。その願いだけは、いつの時代も変わることのない私たちの確かな思いです。

子どもたちは、毎日の遊びや生活の中で、驚くほど豊かに成長していきます。友だちと笑い合う時間、思いきり体を動かす瞬間、うまくいかずに悔しい気持ちを味わう経験、そしてもう一度挑戦してみようとする小さな勇気。

そうした一つひとつの積み重ねが、子どもたちの未来を形づくる大切な土台になります。

私たちが大切にしているのは、子どもたちが安心して自分を出せる環境です。「やってみたい」「もっと知りたい」という気持ちが自然と湧き上がるような遊びの場、気持ちを受け止めてくれる大人の存在、そして友だちと関わりながら育つ喜び。園庭でのびのびと遊ぶ時間も、室内でじっくり取り組む時間も、すべてが子どもたちの“未来につながる今”です。

保育者は、子どもたちの小さな変化を見逃さず、その子らしい育ちを支える伴走者でありたいと考えています。できることが増えることだけが成長ではありません。気持ちを言葉にできた日、友だちにそっと手を差し伸べた瞬間、自分の思いを大切にしながら相手を尊重しようとする姿、そのすべてが、子どもたちの確かな一歩です。

保護者の皆さまと共に、子どもたちの未来を育んでいけることを心から嬉しく思います。この園で過ごす毎日が、子どもたちにとって「自分は大切にされている」と感じられる時間でありますように―。そして、ここで育った子どもたちが、将来どんな世界を生きるとしても、自分らしく幸せに歩んでいけますように―。

私たちは、その未来につながる今日をこれからも丁寧に積み重ねてまいります。